

2 はたらく人とわたしたちのくらし

家の人们は、
どのような店で
買い物をしてい
るのだろう。

スーパーマー
ケットではどの
ようなくふうをし
ているのだろう。



広いちゅう車場が
あって、べんりだっ
てお母さんがいつ
てたよ。

1店ではたらく人と仕事
買い物はどこで・買い物調べ→



スーパーマーケットの様子を調べよう

きょうは、スーパーマーケットに行き,
品物のならべ方や、売り場の様子を調べる
日です。

てつやさんたちは、スーパーマーケット
では、たくさんの品物を大きなたなになら
べていることと、広い売り場を同じしゅる
いの品物で、くぎっていることに気がつき
ました。

そして、どこにどんな品物があるかを書
いたあんない板をたよりに、店の中を調べ
始めました。



お店には、食料品や日用品・衣料品・くすりなど、いろいろなものが、数をたくさんそろえて売られています。

やさいや魚は、ふくろづめやパックづめにして売っています。お金は、まとめて「レジ」で、しらいます。

お店ではたく人も、品物の一つ一つにねだんをつける人、たなに品物をならべる人、レジの人など、たくさんの人たちがいそがしそうに、はたらいています。

ふだん買い物しているときは気がつかなかったけど、お店にはいろいろな仕事をしている人がいるのね。



家の人たちは、
どのような店で
買い物をしてい
るのだろう。

店ではたらく人の様子

やすこさんたちは、自分たちが調べたお
店のくふうなどについて、さらに店長さん
からお話をうかがうことになりました。



P54~59



みんなてきぱきとしごとが
早く、びっくりしちゃった。

お客さんが安心してべんりな
買い物ができるようにくふう
しているのね。



店長さんのお話



私たちの店では、お客様に品物を買ってもらうために、いろいろなくふうをしています。

お客様の買い物が一度ですむように、いろいろな品物を数多くそろえておくようっています。

品物を仕入れる時は、できるだけやすく、新せんなもの、安全なものであるようにどりょくしています。

また、売り場ごとにお客さんに大きな声でよびかけたり、試食してもらったりしています。

売り場の通路を広くしたり、ショッピングカートを用意して、買い物をしやすくしています。

せんでんのテレビコマーシャルも、どんどん出してたくさんのお客さんに来てもらうようにしています。





店で売られている商品は、どこから運ばれてくるのだろう。



● 室蘭市公設地方卸売市場

ふうたさんたちは、やくそくした朝6時に集まって、日の出町にある地方卸売市場に向かいました。

市場では、朝、うすぐらいうちから仕入れにくる魚屋さんたちのトラックで、広いちゅう車場がいっぱいになっていました。

ふうたさんたちが中に入つてみると、広い市場の中ではたくさんの人のすがたが見えました。ずらりとならべられたはこの中には、たら、かれい、いかなど、たくさんのが入れられています。

市場であつかわれる魚などのねだんは、「せり」によって決められています。

「せり」をする人が、元気のよい声で品物のねだんをよびかけると、仕入れにきた人たちには、いせいよく手をあげて、返事をして、次々にねだんが決まり、品物が引き取られていきます。

9時をすぎたころには、「せり」もぜんぶ終わり、きれいに後かたづけされ、ちゅう車場もがらんとします。



市場長さんのお話

「ここでは、一日におよそ17トンの魚などがあつかわれています。これらのものは、室蘭市だけでなく、登別市や伊達市などおよそ20万人の人たちの食べ物になっています。」



これまでに調べてきた店のくふうをまとめよう





P62~63

- よりよい買い物をするために
- てつやさんたちは、スーパー・マーケットのほかに、室蘭市の商店がいなどについてもまとめました。話し合ううちに、いろいろな買い物のしかたがあることにも気づきました。

● 中島町の商店がい

東室蘭駅の西口を出ると、中島町・知利別方面に中島町商店がいがあります。

その中でも特にぎやかなところは、東室蘭駅西口から中島町入口にかけてL字形になっている商店がいです。

ここには、ショッピングセンター・大きな店、ホテルなどをふくめ、おおよそ200の店があります。近くの高砂町や水元町・八丁平などに住宅がふえ、どんどん発展したので、商店がいも大きくなりました。

所々に広場があり、かざりのしおりがつけられています。道はばを広げたり、カラーはそうにしたりして、車や人が通りやすくなっています。

また、知利別川を整備し、さんぽする道などもあり、いこいの場になっています。この他にも、店ごとのかんばんやたてものの色を考えるなど、みんなで話し合い、きれいな町なみにするためにくふうや努力をしています。

白鳥大橋



近所のコンビニエンスストアで買い物をすることがあるよ。

室蘭駅

● 中央町の商店がい

室蘭駅のあるまちは、古くからのお店がたくさんあります。

一番にぎやかな中央町の商店がいには、およそ130の店があります。ここにはこれまでアーケードがありました。しかし、明るい町なみにするためにアーケードをとりはらい、カラーはそうにしたり、きせつごとにかざりつけをしたりして、くふうや努力をしています。

旧室蘭駅や小公園ではいろいろなイベントを開いています。



電子マネーを使って買い物ができるお店もあるわよ。



お父さんは、インターネットで買い物をしていたこともあったよ。



東室蘭駅

● 弥生ショッピングセンター

太平橋のたもとの東町に、大きな店が集まっています。平成12年9月にできた弥生ショッピングセンターです。

ここには、広いちゅう車場があり、15の専門店があつまっています。夜おそくまで営業している店もあります。

どうろや店の中は、だんさをすくなくし、歩きやすいようになっています。



高台から見た工場の多い地いき

室蘭市にはどのような工場があるのだろう。

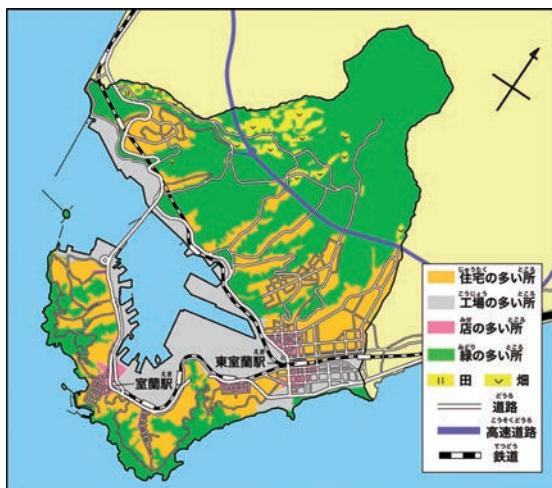


2 工場ではたらく人と仕事 ものづくりのまち

ななみさんたちは、まちめぐりをしたときに、港のまわりにたくさんの工場があることをしりました。



室蘭市は、工場の多い地いきが広いのね。



室蘭には、鉄にかかわる工場が集まっているんだよ。

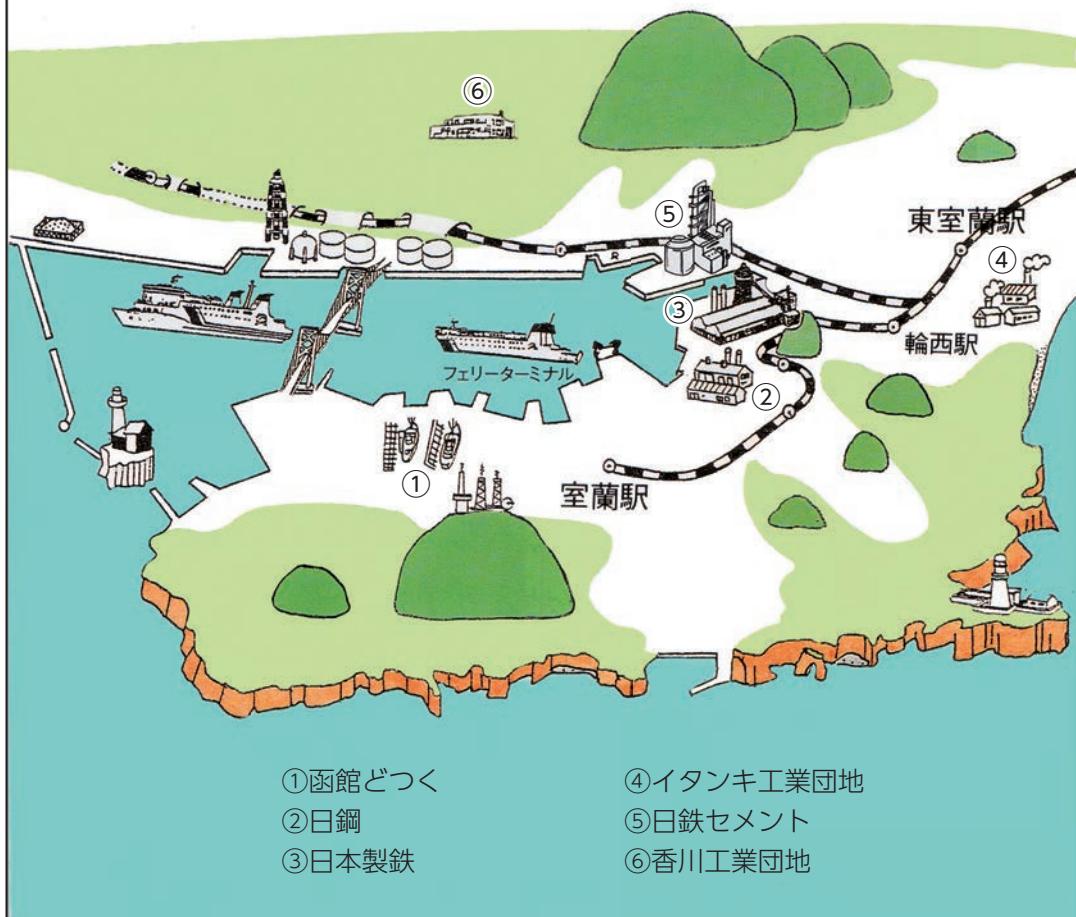


それぞれの工場では、どんな仕事をしているのかしら。わたしたちと、なにかつながらりがあるのかな。



函館どつく

室蘭の工場



ななみさんが地図で調べてみると、室蘭には、港にめんして日本製鉄や日鋼などの大きな工場があり、イタンキ工業団地や中島の入り口にも中小の工場がたくさんあります。

また、香川町の工業団地には、せいみつな部品をつくる工場があることがわかりました。

学習問題をつくって、見通しを立てよう



ものづくりのまち 室蘭

鉄にかかる大工場を中心にして、それをささえるたくさんの工場があります。また、大きな工場どうしもおたがいにかかわりあってせい品をつくっていることもあります。

「どの工場と、どの工場がどのようにむすびついているかをしらべてみるのもいいですね。」と先生がおっしゃいました。

とくしゅな技術をもっている工場や室蘭のかんきょうを生かして船やせいみつな部品をつくっている工場もあります。



函館どつく



日鉄セメント



香川工業団地(キメラ)





日本製鉄



日 鋼



親子工場見学・ものづくりバスツアー

きず
ぎじゅつ
先人が築き上げた技術を未来へ
引きついでいくためにも、室蘭でつ
くられているせい品や、働く人の姿
を実際に見て学ぶことが大切です。
室蘭には、工場見学の受け入れを
行う会社や、ものづくり体験を提
供する大学や市民団体などが多く
あります。これらのものづくりに親
しむための取組を、室蘭では『て
ついく(鉄育)』と名づけています。



ウェブ
「てついく Web」では、ぼくたちが
てついくに協力してくれている会社や
団体の様子をしようかいしているよ。
右のQRコードからアクセスしてね！





空からみた日本製鉄

鉄をつくるしごと



「すごく広い場所にいろいろなたてものがたっているわ。それぞれの工場でどんなものがつくられているか調べてみたいわ。」

鉄せいひん
はどのように
つくられてい
るのだろう。

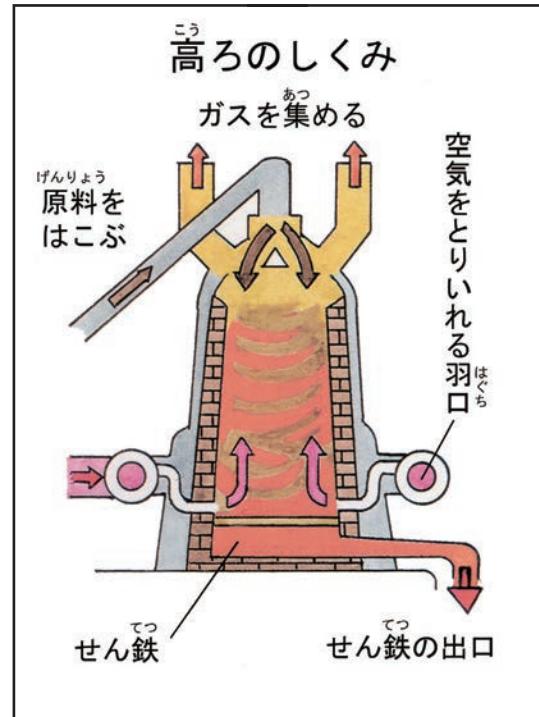
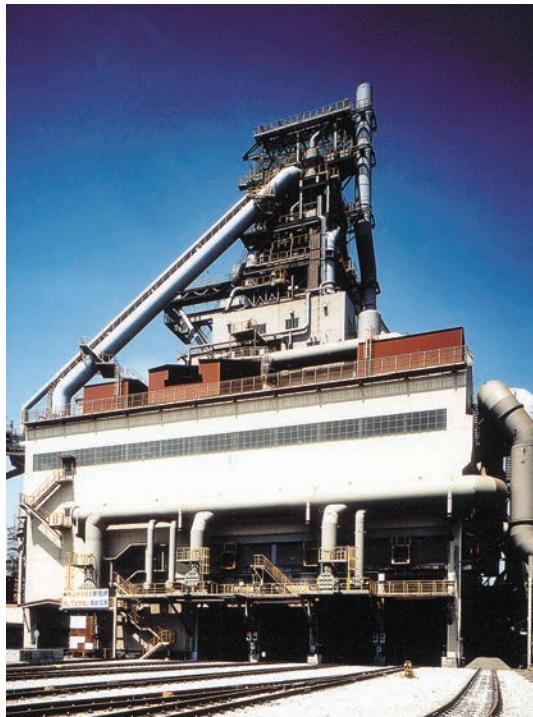


みさきさんは、市内で一番大きな工場の
日本製鉄室蘭製鉄所を調べることにしました。
この工場では、鉄こう石から鉄をつくっています。
工場のきかいを動かす人、きかいをしゅうりする人、新しいぎじゅつを考える人など、協力している会社の人などを合わせると、ぜんぶで4000人ほどの人がはたらいています。この製鉄所の広さは、学校のグラウンドのおよそ400ばかりもあります。

①高ろ

高ろは、コークスをもやして高い温度にし、鉄こう石からせん鉄をとりだすところです。

いぜんは、まっ赤にとけたせん鉄が火花をちらしてながれるのが見えましたが、今は、はたらく人の安全とかんきょうを考えてカバーがしてあります。



高ろとその仕組み

②鉄せいひんができるまで

日本製鉄には鉄こう石からとりだしたせん鉄をねばり強いはがねにかえる工場もあります。

さらに、このはがねをもとに、自動車やきかいの部品の材料にする工場や、つり橋用のワイヤをつくる工場がじゅんじょよくならんでいます。

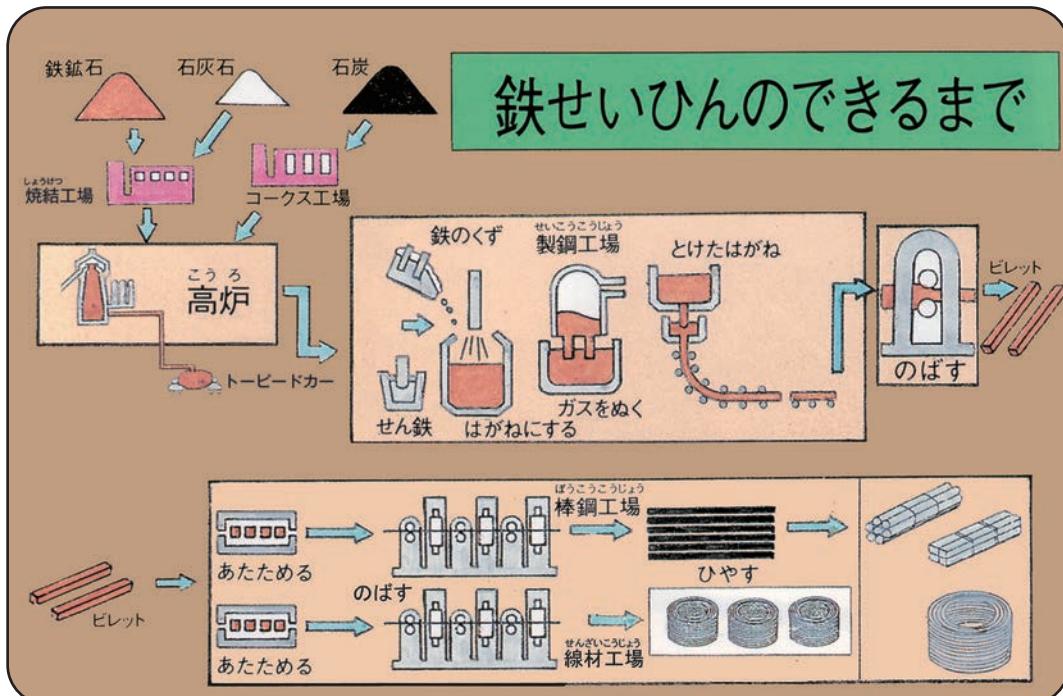
ここでつくられた製品は、主に国内の自動車メーカーや部品メーカーなどにおくりだされます。



鉄こう石を溶かして銑
と
鐵をとりだす高ろ(左)

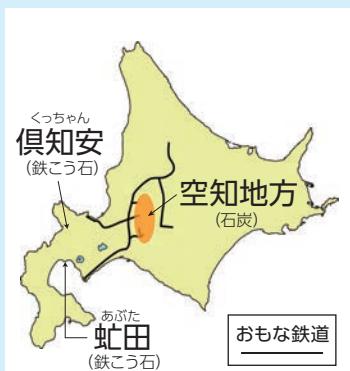


銑鉄に酸素をふきつけ,
ねばり強い鋼にする
転炉(右)



棒鋼・線材製品が加工されるようす

<鉄づくりのうつりかわり>



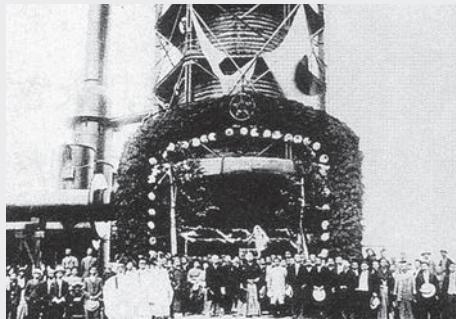
室蘭で鉄づくりがさかんになったわけ

- ①鉄のげんりょうとなる、鉄こう石や石炭が近くでとれた。
- ②鉄や石炭を運ぶ、鉄道が通っていた。
- ③自然のよい港にめぐまれていたので、鉄を運ぶのに、つごうがよかったです。

室蘭で製鉄業がさかんになったのは、こうした条件と、工場で力をあわせ働いたおじいさんたちのがんばりがあつたからなんだ。



てつやさんのひいおじいさんのころ

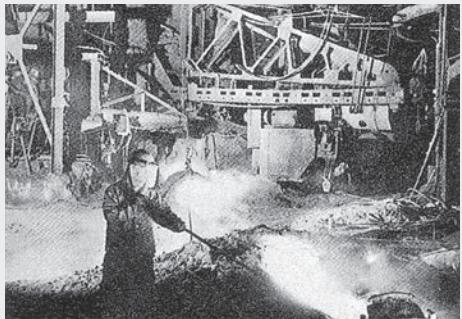


高ろで、はじめて鉄をつくった日は、ちょうどちん行れつをして、よろこび合いました。

外国からの輸入にたよっていった鉄を、北海道でもつくれるようになつたからです。

当時は、2組2交代で仕事をすすめていました。

てつやさんのおじいさんのころ



鉄をつくるりょうも、どんどんふえました。げんりょうになる、石炭や鉄こう石を、外国から輸入しました。

あつさとたたかう、きびしい仕事でしたが、3組3交代で、5日に1度は休めました。

大きなせいひんをつくるしごと



でんきろ
製鋼工場「120トン電気炉」

大きな鉄せい
ひんはどのよう
につくられてい
るのだろう。



日本製鋼所室蘭製作所（日鋼）から「ガ一

ン，ガーン」と大きな音がします。ふうた
さんは、この音の正体を調べに行くこと
しました。

日鋼では、かんれん会社や協力会社の人
をふくめると3000人ぐらいの人がはた
らいでいるそうです。

この工場では、鉄くずを電気の
「ろ」で、どろどろにとかしては
がねをつくり、それをもとにして
いろいろなせい品にしています。

とくに、はがねのかたまり（鋼塊）
は世界最大670トンをつくることが
できます。主な製品は発電所で使わ
れるタービンロータ軸や天然ガスを
輸送するクラッド鋼管など、ものづくりの技術
は世界中でみとめられています。



世界最大670トン鋼塊

市内でもこの工場で作ったせい品が活躍しています。白鳥大橋のケーブルバンド（とめがね）もこの工場でつくったそうです。

ふうたさんは、大きな音のしようたいもわかりました。これは、たんぞう工場ではがねをたたいているハンマーの音だったのです。はがねをたたくとさらにねばりがあるじょうぶなはがねができるそうです。

ふうたさんは次に、さらに大きな1万4千トンプレスも見せてもらいました。1250どもあるまっ赤なはがねをグーッと押しつぶしてしつのよいはがねにしています。



<おじさんの話>

うちの工場は、鉄製品のほかにもいろいろな技術をもっているんだよ。市内では、石川町のごみしょりしせつや文化センターの冷暖房システムにも日本製鋼所がかかわっているんだ。



たんれん
鍛錬工場「1万4千トン水圧プレス」



<ふうたさんのかんそう>

「こんなに遠くで見ても顔があつくなって外に出たくないっちゃった。何時間も1万4千トンプレスのそばではたらいている人は、たいへんだろうなあ。このまっ赤なはがねについて発表しよう。」



これまでの学習をふり返り、まとめよう



<せんたく>農家をたずねて

室蘭市の農家では、どのような仕事をしているのだろうか。



室蘭で一番さかんな農業はらく農です。ななみさんは、石川町で100頭ほどの乳牛をかっている森田牧場をたずね、いろいろとお話をうかがいました。



牛舎の中のようす

冬に牛1頭が食べるえさ

- ・ほし草
8キログラム
- ・グラスサイレージ
15キログラム
- ・デントコーンサイレージ
15キログラム
- ・はいごうしりょう
7キログラム

<調べたこと>

牛のせわは、朝と夕方の2回する。

- (1)えさをやる。
- (2)ふんのしまつをする。
- (3)乳しぼりをする。
 - ①ぬるまゆで乳ぶさをあらう。
 - ②乳ぶさをしうどくする。
 - ③ミルカーで乳しぼりをする。

※一頭あたり、一日25キログラム
ぐらいの乳を出す。

- (4)運動のために、牛を牧草地に出したり、牛しゃに牛をもどす。

午前												午後											
6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時						
す い み ん お き る	牛 の せ わ	食 休 け 事 い	畑 放 の 仕 事 牧	牛 舎 の そ う じ	食 休 け 事 い	畑 の 仕 事	牛 の せ わ	食 だ ん ら 事 ん	す い み ん ね る														

森田さんの一日の生活こよみ

ぼくじょう 牧場の仕事



けいせい
牧場を経営している
森田さん

昔は、なんでも手作業で仕事をしていました。牛乳も手でしぼっていたので1頭しぼりおえるのに15分かかりました。

今は、きかいをつかうので楽になりましたが、それでも朝早くからしごとをするのはたいへんですし、牛は生き物なので毎日せわをしなければなりません。また、牧草をつくったり、畑を作ったりするので1日じゅうしごとがあります。

また、私の牧場では、肥料をつくる新しいプラントにも挑戦しています。これまでにはいろいろな手間をかけて、1年間かかってつくっていた肥料を、このプラントでは、約1ヶ月

でつくることができるようになりました。これまでのやりかたに比べて、環境にもよい方法です。

みなさんに安全でおいしい牛乳を飲んでもらえるように、牧場では、毎日いろいろ工夫を重ねてがんばっています。



肥料をつくるプラント



これまでの学習をふり返り、まとめよう

